

令和4年度 学校関係者評価報告書

1 「学校評価」について

回答 A：はい B：どちらかというとはい C：どちらかというといいえ D：いいえ

内容	A	B	C	D	なし
1 学校教育目標・重点目標は適切であると思う。	6				
2 評価項目・評価の観点は適切であると思う。	5	1			
3 各項目についての取り組み状況はよいと思う。	5	1			
4 「学校評価」のための資料はわかりやすく作られていると思う。	3	3			
5 評価の仕方は適切であると思う。	4	2			

(学校評議員 6名の回答による)

2 「学校評価」に対する意見

- 各領域の評価すべきポイントが本校生徒に相応しい。フォトニュース等紙面のみの評価は難しいが、インターンシップやプロGRESSは良い。
- コロナ禍で大変な一年だったが、職員と生徒とのコミュニケーションで乗り越えてきた。福祉コース全員が希望進路を決定した等、前回評価からAが多く増えた事にもそれを感じる。
- 特色ある教育課程の編成、生徒指導の項目にA評価が多く、力を入れていると感じる。
- 「目標を掲げて取組む」ことは重要である。評価の観点のとらえ方をより具体的に検討し記載することで、反省意見の理解がしやすくなり今後の対策につながる。
- 重点目標の視点は本校生徒にマッチしていて良い。生徒・職員の様子コメント欄がほしい。
- 適切な観点・項目で、ていねいに評価されている。生徒のために日々力を尽くしている成果が評価につながっている。

3 学校の教育活動全般に対する意見等

- 最終評価A、Bが多く、生徒に注ぐ教師の愛の深さを感じる。
- 地域学において、体験的学習が多くとり入れられていて大変嬉しい。せっかくこの自然豊かな立科町まで通学しているので、生徒が町との関わりを多く持ってほしい。
- 三校清掃を中心に小中高で、さらに生徒会や地域学習で生徒と子ども達がかかわることができる。また職員も算数数学の連携を中核として、生徒・子ども達の学びを参観し合うことで、力を高めていくことができるとよい。
- コロナ感染拡大防止対策等により、あたり前であった生活が大きく変わる中、学校教育においても変化が表れ、適切な対応に感謝する。初代校長の精神を受け継ぎ、「蓼科学」を学ぶ生徒達の将来に期待している。時代や変化する社会に対応すべく、学習指導、進路指導等よろしくお願ひしたい。
- 重点目標④「保護者との連携を密に」はどうであったか。「蓼科学」の活動は先進的で高く評価されるが、更に充実するよう内容を検討し、講師の意見交換なども実施したい。
- 様々な困り感や課題をかかえる生徒のために、職員が日々力を尽くしており感謝したい。本校生徒の姿を見ていると、「蓼科高校に来て良かった」という生徒の気持ちが声となって聞こえてきそうである。すばらしい高校をつくっていただきありがとうございます。